

ポリオ不活化ワクチンの早急な導入等について国に意見書の提出を求める請願

【請願趣旨】

現在急性灰白髄炎（ポリオ）は生ワクチン接種となっています。しかし年に数人生ワクチンが原因のポリオ患者が出ています。2010年2月には、生ワクチンから二次感染による患者発生が報じられていました。

生ワクチン投与を続ける限り、100万人に2～4人のポリオ患者が発生するとWHOも警告しています。また何よりも危険なのは、人体内で変性して強毒化したポリオウイルスから二次感染や三次感染などの再流行を引き起こしかねないことです。国内でも免疫獲得率の低い世代が親になり、わが子からの感染が懸念されます。

ポリオワクチンを生ワクチンから不活化ワクチンに切り替えれば、被害は完全に防げます。先進国のほとんどが不活化ワクチンに切り替え、安全性と効果が実証されており、日本は遅れています。

厚生労働省は今年5月26日、不活化ワクチンを早ければ来年度に導入する見通しを示しました。大きな前進ですが「来年度」を待つことなく、早急に導入することなど、以下の点について、町田市議会から国に意見書を提出してください。

（請願項目）

- 1、 予防接種制度におけるポリオ不活化ワクチンを、来年度を待つことなく早急に導入してください。
- 1、 ポリオ不活化ワクチンの生産体制が整うまで、緊急輸入してください。
- 1、 子どもに必要な予防接種料はポリオ不活化ワクチン・耳下腺炎・水疱瘡等含めてすべて個人負担のないように助成してください。

公費で